

キャラクター名	プレイヤー名
ヤナギシマ・マキノジョウ	

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:	ウォーリア	レベル	11
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	サムライ	性別	男
称号クラス				年齢	64
種族	ヒューリン			境遇	渡来
出自(効果)	武芸者			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	18	22	18	8	15	13	9
ボーナス	6	7	6	2	5	4	3
クラス修正	3	3	1	0	0	1	0
他修正							
能力値	9	10	7	2	5	5	3

HP	117
MP	78
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	大典太(おおてんた)		-1	19					
左手	トゥーハンドアタック分								
頭部	鉢金					3			-1
胴部	達人胴着					10			
補助	クイックバンド							2	1
装身具	迅雷の鞘							3	
能力値			10	0	7	0	5	12	14
スキル	インサイトブレイド、トゥーハンドアタック		3	10					
その他									
総計(右)			12	29					
総計(左)			13	10	7	13	5	17	14
総計(両)									m
ダイス数			4 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	10			10	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	

現在重量:	5	所持金:	240	預金・借金:	-2500
-------	---	------	-----	--------	-------

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
プロボック	1	4	セットアップ	10m	単体	筋力		
効果: 精神と対決。達成値+SL×2. 逆上								
スピリット・オブ・サムライ	1		アイテム					
効果: 刀をSL個取得								
	1							
効果:								
ストライクバック	3	4	リアクション	武器	単体	命中	SL/シーン	
効果: 白兵攻撃のリアクションを命中判定で行い、勝利したらCL×5のHPロス。攻撃はそのまま命中する								
ショットバック	1	4	ストライクバック					
効果: 射撃に対しストライクバック可能。射程は視界に								
トルネードブラスト	1	6	メジャー	武器	範囲選択	命中	1/シーン	
効果: 対象に武器攻撃。CLがCL+SL以下のモブなら即死								
トゥーハンドアタック	5		パッシヴ		自身			
効果: 刀を両手武器に、ダメ+[SL×2]								
トゥルーアイ	1	4	ダメージ直後		自身		防御中1回	
効果: 武器攻撃力+2のダメ軽減								
AM:刀	1		パッシヴ					
効果: 刀の命中判定+1D								
スタイル・シンエイ	5	6	ストライクバック				SL/シ	
効果: ストライクバック勝利時、スキルを失敗させられる								
アーツ・シンエイ	3		パッシヴ					
効果: ストライクバックのHPロス+[SL×5]								
	1							
効果:								
ボルテクスアタック	1						1/シ	
効果: 武器攻撃と同時に宣言。単体にダメ+[CL×10]								

立ち回り
 ストライクバックによるカウンターがメイン。加えて、それを誘発するための挑発、スリップ、封鎖などで前衛として立ち回る。武器攻撃はパッシヴでの火力底上げなのでそれほどダメージは高くないが、ボルテクスとフルスイングで瞬間火力を出すことになる(ストライクバックがシーン制限なのをどうすべきか…)

アライメント
 中庸。
 善悪かどうか、秩序か混沌かにはあまり興味が無い。
 最も重要なのは自身の自由であるが、現在は家族や地位もあるので一般的な価値観のもと目的のため行動する。

人物
 ヤナギシマ・マキノジョウ。
 剣が主流であるエリンディル西方にありながら、刀にて剣聖と呼ばれるまでに至った達人である。
 東方の武芸者の家に生まれた彼は、若かりし頃武者修行として各地を転々とし、様々な流派や武術と対峙したことで、遂には一つの到達点へたどり着いた。
 後の先の更に先、すなわち肉を切らせずに命を断つ、必滅の返し技である。
 それぞれがカウンターと守りに重きを置く、東方のシンエイ流とホウゲン流から着想を得たこの技を継承するため、彼はルネスに道場を開いた。

幾ばかりか経ったが、未だ彼の境地に辿り着く弟子は現れていない。
 そればかりか、彼はそこが頂ではなく、更にその先にあるものが見えてくるかのような、新たな段階へと足を踏み入れようとしていた。
 息子は神官の道に進んだが、多くの門下生が育ち、そして優秀な孫も旅に出ていることも一つの後押しとなったことで、彼は再び武者修行へ出ることにした。

